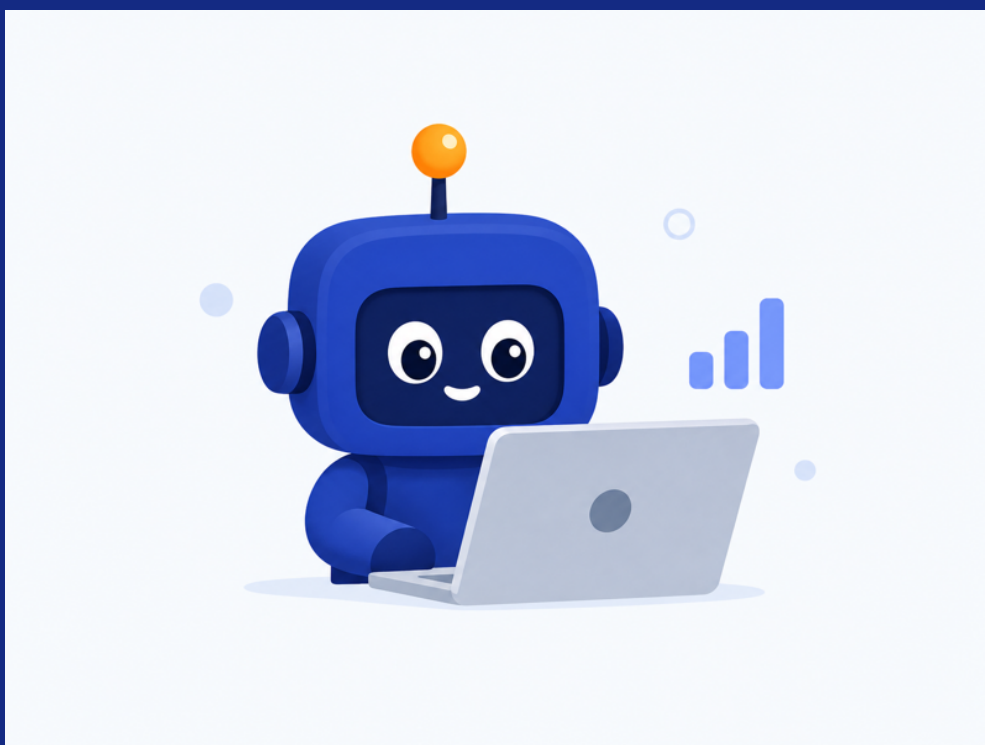


AI活用を、 個人技から組織の実践力へ。

AI仕様駆動開発を中核に、学習・演習・習熟度の把握を
ひとつの流れで支える生成AI習熟プラットフォーム



LEARN, PRACTICE, IMPROVE

学んで終わらず、実務で使うところまで。

Praxisは、生成AIの知識を読むだけでなく、仕様化・設計・実装・運用の流れに沿って試し、振り返るための学習環境です。

01 学ぶ

章テキストと用語解説で、AI活用に必要な考え方を段階的に理解します。

02 試す

章末ドリルと総合演習で、理解を判断とアウトプットへつなげます。

03 見直す

進捗と結果を確認し、次に取り組むテーマを整理します。

FeelFlow独自のAI仕様駆動開発（ASDD）

仕様化 → 設計 → 実装 → 運用

特定の資格・試験・認定団体に依存しない独立制作のカリキュラムです。業務で再利用できる仕様と判断の型を身につけることを目指します。

A PRACTICAL LEARNING LOOP

短い学習サイクルを、 日々の仕事につなげる。

一度に詰め込まず、理解・演習・振り返りを繰り返します。
受講者は個人プランと同じ学習画面を利用できます。



組織での活用例

- 共通言語づくり: AIへの依頼を仕様として整理する
- 研修設計: 章別進捗や演習結果から次のテーマを決める
- 実務接続: 学んだ型を社内の小さなテーマで試す

※ 学習成果や業務成果を保証するものではありません。活用方法は組織の目的・運用体制に応じて設計してください。

KNOW YOUR WORKING STYLE

あなたはどんなストラテジストか。

12アーキタイプ診断は、生成AI活用における業務スキル・スタイルの傾向を整理する決定論的なルールベース診断です。

受講者に返すもの

自分の強み・注意点・学習のヒントを確認。診断は医療・心理検査や人事評価そのものではありません。

組織で確認できるもの

組織が払い出したアカウントに限り、管理者はメンバーの診断結果と学習状況を確認できます。

診断データの扱い

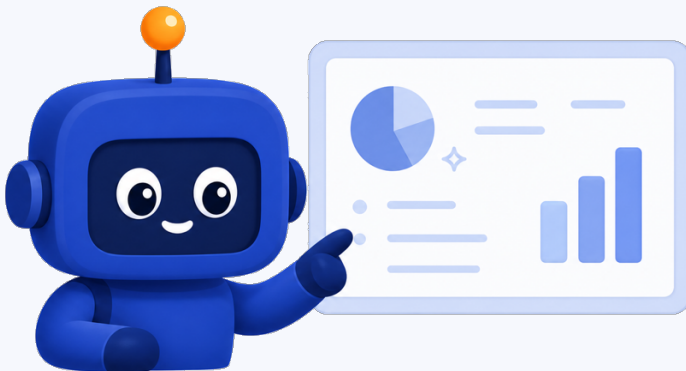
- 設問は業務スキル・スタイルの範囲に限定し、健康・メンタル情報を扱いません。
- 既存の個人アカウントは法人組織へ移行せず、個人時代の学習・診断データを持ち込みません。
- 管理者の個票閲覧は監査ログに記録されます。

利用目的・管理範囲は契約およびプライバシーポリシーに基づいて運用します。

ONE PLACE FOR LEARNING OPERATIONS

受講状況を見て、次の働きかけを決める。

法人管理画面では、組織が払い出したアカウントの管理と学習状況の確認をひとつの導線で行います。



CUBIによる法人管理イメージ

01

メンバー

一覧・個別の学習進捗・診断結果

02

アカウント

組織による払い出しと本人への案内

03

席

割り当て状況の確認と管理

04

運用

除籍・ロール変更・同期保留の再試行

現在のv1範囲

組織は1階層です。部署・グループ階層、SSO・SCIM、請求管理は資料作成時点の提供範囲に含みません。

CLEAR ACCOUNT BOUNDARIES

見える範囲を、アカウントの出自で分ける。

法人利用では、組織が新しく払い出したアカウントだけを管理対象にします。個人契約のアカウントは組織管理者から閲覧できません。

法人払い出しアカウント

管理者が確認できる

- ・メンバー情報
- ・学習進捗と演習結果
- ・診断結果
- ・アカウントと席の状態

個人契約アカウント

管理者からは閲覧できない

個人の学習履歴・診断結果を法人アカウントへ移行したり、組織へ持ち込んだりしません。

運用上のガード

組織分離

他組織のメンバーデータへのアクセスを拒否

監査

管理者による個票閲覧を監査ログへ記録

同期

外部ID基盤との更新失敗を検知し、再試行

START WITH YOUR PURPOSE

目的と運用範囲を整理して、導入を始める。

Teamプランは組織によるアカウント払い出し方式です。最新の料金・税区分はPraxisの料金ページで確認できます。個別の導入条件はお問い合わせください。



法人利用について相談する

<https://feelflow.net/contact>

運営: FeelFlow株式会社

最新情報: <https://praxisai.jp/for-business>